

令和2年度 県立鏡が丘特別支援学校浦添分校 自己評価結果(事務・現業)

実施日:11月6日(金)～事務1名・用務員1名(非常勤)回収率100%

1 趣旨

校長が学校の教育目標や教育計画等を年度当初に保護者や学校評議員、各関係機関等に説明すると共に、その達成状況等に関する学校評価を実施し、その成果を公表することにより、学校運営や教育活動の改善・充実、教職員の資質・能力の向上を図り、より一層地域に開かれた学校づくり、学校運営に資することを目的に実施する。

特に公教育を担う私たち教職員は、児童生徒一人一人の実態に応じて望ましい発達・成長を促すために日々努力し精進する必要がある。それは本校の教育目標達成のための実践に他ならない。教育活動全般にわたり計画・実践・評価をすることにより工夫・改善を行い本校教育の一層の活性化・充実を図るため学校評価は実施される。また、「新学習指導要領」の実施で学校の「説明責任」が大きく問われている現状、保護者や地域に信頼される「開かれた学校」づくりのためにも全教職員による学校自己評価を行う。

2 評価方法

各項目ごとにその達成度を4段階で評価する。
該当する欄にチェック☑を入れて集計する。

3 回答する上での留意事項

(1)次の評価基準により評価する。

4:良い 3:やや良い 2:やや不十分 1:不十分 ? :わからない

(2)具体的評価項目の主語は、全て「学校は(学校の)」とする。(自身で持っている情報のみで判断して可)

(3)「2」「1」「?」の評価項目については、備考欄に必ずその理由を記入する。また、改善策(案)等があれば併せて記入する。

4 評価の結果について

学校評価検討委員で回収、集計を行い、評価点の平均が低い項目(3.0未満)についての理由及び改善策をまとめ、全職員へ公開し確認する。

鏡が丘特別支援学校浦添分校

No	評価項目	具体的評価項目	4	3	2	1	?	平均点	評価点の低い項目(3.0未満)についての理由及び改善策
1	教育目的意識	教育目標達成に向けて、職員が共通理解し意欲的に取り組んでいる。	2					4.0	
2	職員会議	必要な月に職員会議に参加(提案)し、職員に伝える事ができている。		1			1	3.0	・職員会議へ参加していないため。(来客・電話対応)。
3	危機管理体制の整備	職員の協働体制が推進され、効率よく実践されている。	2					4.0	

4	施設設備の管理・点検	校舎の安全点検がなされ、施設の維持・管理に努めている。	1	1				3.5	・校舎は築40年になり、老朽箇所も増えつつあるので、定期点検と、修繕が必要になってくる。
5	環境美化	全職員協力のもと、計画的な清掃活動及び美化活動が適切に実践されている。	2					4.0	
6	学校行事	全職員共通理解のもと、学校行事の推進と充実が図れている。	1	1				3.5	・コロナ禍にあり、行事は大幅に制限された。支援機器購入の手続き等で、事務は応援した。
7	業務の処理	業務処理に対する職員数は妥当で正確性、計画性は図られている。		1			1	3.0	・負担が大きい職員の業務を少しでも分業できればと思います。→事務職員が1名で、業務内容が多岐に渡るので事務補助の必要性がある。
8	創意工夫	業務を遂行する中で創意工夫は図られている。	1	1				3.5	用務員が、事務の業務内容をサポートするなど、少ない人数で連携して業務に取り組んでいる。
9	業務遂行上の知識	仕事を進める上で必要な知識や情報の習得ができる環境である。	1	1				3.5	・事務現業、それぞれ1名しかいない上に用務員は賃金のため研修参加等に出張扱いができない。また事務に関しては業務に関してわからないことは本校事務長から助言、又本校事務職員の応援を受けながら業務を遂行している。
10	接 遇	来客、電話対応は適切に行っている。	2					4.0	
11	協働体制	教諭、事務、現業、全体で協力体制がとれている。	1				1	4.0	
12	責 任 感	自らの事務分掌に責任を持って取り組んでいる。	2					4.0	
13	職場環境	勤務上の課題や悩み等について、職員が相談し合える雰囲気職場になっている。		1			1	3.0	・定期的に管理職がラウンドして、困り感がないか、伝えやすくする。事務、養護教諭、教諭それぞれが適宜、声を掛け合う。
14	校内LANの活用について	個人情報やセキュリティに留意して、情報の共有化に取り組んでいる。	1	1				3.5	個人情報の取り扱いや情報セキュリティに留意し、職員間で危機管理意識を持ちながら情報の共有化を図る。